

地域おこし協力隊配置要望書

地域の目標	北山地区(昴平・仙納・田野倉集落)は、十日町市・松代地域の中でも山間部に位置しています。天水や湧き水と粘土質の土壌、昼夜の寒暖差が大きいことから、美味しいお米がとれる地域です。また、従来からの住民有志グループによる活性化の活動(祭りなど伝統行事や住民同士の交流行事)を基盤として、大地の芸術祭などを通して大学・学生らと交流活動をすすめるなど、住民自ら楽しもうとする風土がある地域です。 しかしながら、特に近年は少子高齢化及び過疎化が加速し(田野倉集落の例：過去 10 年で実質約 1/4 減少、15 年では半分近く減少)、棚田(稲作)の後継者がいないばかりか、地域の将来を担う人材も著しく少なくなりました。 美しい棚田、おいしいお米、この中山間地域にしかない生活文化や価値観・景観を守って残し、未来の世代に継承していきたい。 このような目的に対して、私たちと一緒に取り組んでくれる隊員を歓迎します！ 《地域としての目標》 1. 地域との関係人口の創出、地域への移住誘致を進めるための持続的な仕組みを創り上げたい！ 2. 2026 年までに、地域に定住する家族を 1 件以上迎え入れたい！ 3. 2026 年までに、地域での稲作の担い手となるべく、1 名以上の若者に就農支援を開始したい！ 4. 地域行事や共同作業、高齢者などの生活支援を通して、地域の住民と交流し、互いに学び合う、元気にし合う関係を創り上げたい！ 【北山地区の概要】 ●位置：ほくほく線まつだい駅(周辺に学校・病院等あり)まで、車で約 10 分～15 分 JR 線十日町駅まで、車で 30 分～35 分 ●地域の世帯数と人口の増減(田野倉集落の例)： ・世帯数：31 件 ・人口：65 人 ・人口増減率：2010 年より 22.6%減 ・人口推移：2020 年 65 人←2010 年 84 人←2005 年 108 人(1889 年 346 人) ・世代別数：20 歳未満=5 人(8%)、20～30 歳代=5 人(8%)、40～50 歳代=11 人(15%) 60～70 歳代=28 人(43%)、80 歳代以上=16 人(25%) (計 65 人) ●近年の移定住件数：2 件 ・40 歳代夫婦、子ども 2 人の 4 人家族として関東より転入。 ・20 歳代 1 名、地域おこし協力隊として県外より転入(活動終了)。 ●交流・連携している大学(研究室)：3 件 東京都内の芸術大学、女子大学、愛知県内の工業大学 ●地域おこし協力隊のこれまでの着任数：3 件 2017 年～2019 年：1 名、2020 年～2022 年：1 名、2022 年～2024 年：1 名 先 2 件は昴平集落を拠点として活動。後、田野倉集落を拠点として 1 名活動。
--------------	---

隊員にして欲しい仕事	《新規隊員の活動内容（要望）》 A. 地域の“未来が必要とする活動”：市内で「もっとも就農しやすい地域」に！ 上の目標の中でも、特に北山地区周辺地域での農業（中山間地域の水稲・棚田）を維持し、一人でも多くの担い手・後継者を得ていくために、 ①地域の水稲を中心とした<u>農業に関する支援活動</u>を行いながら、 ➢ 高齢農業者や人手不足農業者の作業支援を行っていく ➢ 作業単位だけでなく、継続的に支援することで全体の流れを習得 ➢ 地域の農業者や関係者とのつながりをつくる ②地域ならではの農業技術を習得することを通して、<u>就農・営農の方法を検証し、</u> ➢ 棚田地域ならではの生産技術を整理して記録、共有・公開する ➢ 将来の希望者にとっての、就農し易さや難しさ・解決方法を検討・検証する ➢ 気候の変動や市場の変化を見越した、持続的な営農方法を検討・検証する ③また、使わなくなる農具や機械・土地を、<u>放棄せずに維持管理する方法を見つけて、新しく農業を始める人に提供できる仕組みを作る</u> ➢ 関係団体などに協力を仰ぐなどして、不要になった農機具や土地を保持していく仕組みを研究 ➢ 保持したものを新規就農希望者等に提供できることで、就農や営農の難易度を下げる仕組み ④このような活動の経緯を広報することで、当地域で<u>一緒に農業をやっていききたいという声を集めることに貢献していただく</u> ➢ 地区のホームページや SNS を活用して情報発信を行っていく。 ➢ 移住体験・農業体験活動などイベント支援を行っていき、農的関係人口の増加を試みる。 B. 地域の“現在が必要としている活動”：市内で「もっとも元気にし合う地域」に！ 少子高齢化の故に寂しく心細い地域になるのではなく、住人どうしが支え合い、励まし合って交流や活動機会をつくるという、雪国の農業地域ならではの「自ら楽しもうとする昔ながらの風土・慣習」や「生活の知恵」を、特に高齢の方々から学び得て、促進させたい。 1 地域の祭りや行事、共同作業を一緒に行う。 2 従来行ってきた交流大学と協力した地域イベントの開催を支援する。 3 大地の芸術祭に関連する、作品作りや地域の活動を支援する。 4 除雪や草刈り、体操教室補助など、その時々が必要に応じた活動を進める。 以上のことに尽力いただき、魅力ある地域の魅力をより一層引き出して発信し、当地域に定住を希望する人・家族を発掘していきたい。
------------	--

理想の 隊員 像	□向いている人柄、必要なスキル ・中山間地域での農業に興味があること、農業経験がある方歓迎。 ・一般的なコミュニケーション能力(連絡・報告・相談できる、他者との会話が好きなこと) ・勤務経験などがあり、自己管理や主体的な行動力をもって積極的に仕事を進められること ・その他、本要望書の活動を、地域等と協力して主体的に進められる力 田舎に暮らし、自然の中で活動することが好きな方、誠実で協調性があり地域活動が好きな方、学習意欲や向上心があり、様々な人と連携しながら地域の課題解決を一緒に進めたいという方。40 歳くらいまで、お子さんら家族とともに来る方も大歓迎します！
----------------	--

田舎暮らしを楽しみながら、地域の未来が必要とする「仕組み」づくりを進める活動を、私たちとともに進めましょう。

隊員年間活動計画

期間		具体的な活動概要		
		関係人口創出、移住誘致を進めるための仕組みづくり	就農しやすい地区を目指した仕組みづくり	地域行事や共同作業、高齢者などの生活支援
第1期	4月	↓ ・HPやSNSの構築 ・継続的な情報の発信	・苗づくり・体験圃場の準備	・道普請（共同作業）
	5月	・発信・投稿グループの運営	▲ ・販路拡大の計画 ・田植え ・草刈り ・水管理	・大地の芸術祭の作品作り支援（苅平・田野倉） ・花植え活動（仙納・田野倉）
	6月	・作品作りボランティア参加企画	▼ ・溝切り	
第2期	7月	↑ 大地の芸術祭 ・関係した人々とつながり続ける仕組みづくり ↓ ・稲刈り体験会企画	・穂肥え ・草刈り	・健康体操など補佐
	8月		▲ ・水管理 ・稲刈り	・盆踊り大会 ・大地の芸術祭中の交流活動（苅平・田野倉）
	9月		・米の出荷・販売	↓ ・大地の芸術祭作品の受付支援・案内
第3期	10月	・継続的な情報発信	・田起こし、代掻き	・収穫祭（苅平）
	11月	↓ ・交流機会の企画	・片付け・冬支度	
	12月	計画のふりかえりと活動評価		
第4期	1月	降雪・積雪期間 ↓ 次年の活動計画づくり ・交流機会の企画	・就農希望者が活用できる	↓ 除雪の支援
	2月		・交流機会の企画 ・ものや障壁を整理	・まつだい冬の陣おみこし作り、出場
	3月		・苗代準備	